

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	904 消防指令業務							
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部消防指令課 指令1係、指令2係、指令3係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	01-090101-14 消防指令業務に要する経費							
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画						事業体制	職員のみ	
根拠法令	消防組織法、電波法				市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
火災等の災害や救急要請が発生した際に、その種別、態様に応じて消防車両を選定して運用し、市民の生命・身体及び財産の被害の軽減を図る。				<ul style="list-style-type: none"> 119番通報を受けて、火災、救急等の災害現場に必要な消防車両を出場させる。 救急車の要請時には、通報者に対して口頭指導（人工呼吸、心臓マッサージ・止血等）を行い救急隊が到着までの応急処置を指導する。 関係機関相互の連携を図るため、関連する機関に対して情報の提供を行い、情報の共有をする。 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 迅速・正確な指令業務と消防救急車両の運用業務を行う。 関係機関と相互に情報共有をし、災害発生時において初動体制の迅速化を図る。 地理・建物調査を年2回以上実施し、調査情報のデータ化を図り、119番入電から出場指令までの時間短縮を図る。 茨城県主催の通信指令員スキルアップセミナーへの参加 				<ul style="list-style-type: none"> 地理、建物調査を実施（7月・3月） 課員2名がスキルアップセミナーに参加（6月） 【通年】 <ul style="list-style-type: none"> 119番通報の受付および指令業務を実施 関係機関と情報を共有し、体制の強化を実施 				
成果				課題				
<ul style="list-style-type: none"> 多言語コールサービス導入により、外国人からの緊急通報に迅速な対応ができた。 指令業務での災害救急現場の把握対応が適正にできた。 関係機関との情報共有により、風水害の迅速な初動体制を図ることができた。 				つくばエクスプレス沿線、桜地区の開発地域等において、新規建物が急増し現場の特定が困難な状況にある。 新規物件や住民情報等のデータ入力を行い、データを指令システムに反映させシステムデータの充実化を図る必要がある。				
改善目標（R02年度にむけて）								
つくばエクスプレス沿線、桜地区の開発地域等において、引き続き建物調査等を重点的に実施していく。 119番通報の複雑多様化により通報内容からの確かな判断を下さなければ、安全・安心を確保できないため指令課員の増員及び指令管制業務のスキルアップが必要である。								
指標の推移								
1	指標名	119番通報の件数 (件)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12,832.0	0.0
	指標の概要	119番通報の件数（暦年）						
2	指標名	多言語コールサービス利用件数 (件)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要	外国語による119番通報等で、多言語コールサービスを利用して三者通話した回数						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	48	48	44	44	
	一般財源	(千円)	8,853	9,230	10,944	10,944	
事業費計		(千円)	8,901	9,278	10,988	10,988	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	13.00	12.50			
		時間外勤務 (時間)	200.00	250.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	92,238	85,404			
事業コスト		(千円)	101,139	94,682			

R02年度当初積算根拠	旅費：普通旅費11千円 需用費：消耗品費307千円、修繕料1,000千円 役務費：通信運搬費9,483千円、保険料44千円 委託料：仮設電源設置業務委託99千円、無停電基地局自家用電気工作物定期点検委託44千円						

予算の方向性	理由	高機能消防指令センターに係る通信運搬費
維持		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	905 防災通信システムの運営管理事業							
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部消防指令課 指令1係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	01-090101-14 消防指令業務に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令					事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
高機能消防指令センター指令システム装置の機能を常に適正に維持し、119番通報に対し適切かつ迅速に対応し市民の安全・安心に寄与するため。				<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令センター装置の機能を適正に維持し円滑な運用を行う。 定期点検整備及び不具合発生時の緊急対応については、保守契約業者に委託している。 課員による高機能消防指令センター指令システム装置への災害救急に出場する際の目標物、水利情報及び高齢者情報等のデータ入力及びデータ更新等の入力作業を実施している。 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 保守契約業者による高機能消防指令センターの精密点検並びに通常点検実施 高機能消防指令センター指令システムの部分更新 既存データ（目標物・水利情報・緊急通報利用者情報）の見直し。 住民基本台帳を基に、新規データ入力の実施 危機管理マニュアルの見直し。 119番回線の迂回訓練の実施 				<ul style="list-style-type: none"> 5年目を迎える高機能消防指令センター指令システムの適正な状態を常に維持するため、機器の部分更新を実施 119番回線の迂回訓練を実施（12月） 【通年】 <ul style="list-style-type: none"> 指令システム装置の精密点検並びに通常点検を実施 既存データの目標物と住民情報の見直しを実施 危機管理マニュアルの見直しを実施 				
成果				課題				
指令システムの通常点検さらに機器の部分更新を実施したことにより指令業務を適正に図ることができた。 データベースの見直しにより指令管制業務による現場特定が容易になり、迅速確実な対応ができた。 119番回線の迂回訓練を実施することにより、危機管理体制の確認を図ることができた。				高機能消防指令システム（部分更新）の整備したことにより各種データを見直して再構築し、システムの機能を最大限に発揮させなければならない。 指令管制業務とデータベース見直しには時間の確保、業務の分離、人員の確保が必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
高機能消防指令センターの適正な運用を図るため、既存データベース見直し項目を精査し、さらに新規データを導入する。								
指標の推移								
1	指標名	データベース見直し件数 (件)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100,000.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98,000.0	0.0
	指標の概要	既存データベースの見直し件数						
2	指標名	新規データ入力件数 (件)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,800.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,600.0	0.0

	指標の概要	建物調査、建築確認をもとにした新規データ入力件数						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	21,629	137,763	23,196	29,090
事業費計		(千円)	21,629	137,763	23,196	29,090
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.20	1.20		
		時間外勤務 (時間)	20.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	8,519	8,190		
事業コスト		(千円)	30,148	145,953		

R02年度当初積算根拠	委託料：消防指令装置及び付属機器保守点検委託18,975千円 賃借料4,148千円 備品購入費73千円					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	高機能消防指令システムを整備することにより各種データを見直して再構築し、システムの機能を最大限に発揮させ、円滑な運用を図るために維持管理が必要。
維持		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	906 消防救急デジタル無線の共同運用及び通信施設・機器等の管理運用事業							
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部消防指令課 指令2係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-090101-14 消防指令業務に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令	電波法				事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
<p>電波法の改正により、平成28年5月に消防救急無線が全国一斉にデジタル化されたことに伴い、県内消防本部が共同で整備・運営する事業に参加し、情報の共有化と消防救急無線の運営を目的とする。</p> <p>共同運用の無線施設、無線設備等について、業務委託による保守点検の実施により適切に管理する。</p>				<p>・県内消防本部で組織する茨城消防救急無線・指令センター運営協議会において、消防救急無線のデジタル化及び消防指令業務に係る共同整備・共同運用を実施する。</p> <p>※つくば市消防本部は消防救急無線の共同運用のみ参加</p>				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 消防救急無線の共同運用事業 無線基地局（つくば市役所、北消防署）、遠隔制御器の管理運用を共同で行う。 車載無線機41台、携帯無線機41台、署活系無線機76台、卓上固定無線装置9台の保守管理 署活系無線機76台、可搬型移動局無線装置3台の再免許申請 署活系無線機6台購入 				<ul style="list-style-type: none"> 茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の検討部会等に出席し、共同運営等について協議を実施・いばらき消防指令センターにて年間を通して無線設備の遠隔監視を実施・無線基地局（つくば市役所・北消防署）は毎月1回の点検を課員で実施・つくば市消防本部無線局管理規定に基づき、車載無線機41台、携帯無線機41台、可搬型無線機3台、署活系携帯無線機76台、卓上型固定無線装置9台の毎月点検を実施 				
成果				課題				
<p>無線基地局、無線機を維持管理することで円滑な無線運用並びに消防指令業務の運用ができた。</p> <p>新たに署活系携帯無線機6台を購入活用し、災害現場で隊員間の情報共有が密になり、消防救急活動を円滑、安全に進めることができた。</p>				<p>携帯無線機、署活系携帯無線機等の故障時には、代替えの無線機がなく長期におよぶ修理となる場合、消防活動に支障をきたす可能性がある。</p>				
改善目標（R02年度にむけて）								
<p>各種無線機の長期修理において、車載無線機は業者により代替え機が準備されるが、携帯無線機及び署活動系携帯型無線機にあっては代替え機がないため、消防活動に支障をきたさないよう代替え無線機購入を予算化し、整備を図っていく。</p>								
指標の推移								
1	指標名	会議出席数						(人)
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	0.0
	指標の概要	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会への累計出席者数						
2	指標名	無線基地局点検						(回)
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0	0.0

	指標の概要	市役所・北消防署設置の無線基地局点検件数						
3	指標名	移動局無線機点検 (台)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	170.0	0.0
	指標の概要	つくば市無線局管理規程による毎月点検を実施した累計無線機器台数						
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	29,410	23,643	31,433	39,253	
事業費計		(千円)	29,410	23,643	31,433	39,253	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00			
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	7,082	6,808			
事業コスト		(千円)	36,492	30,451			

R02年度当初積算根拠	負担金：茨城消防救急無線・指令センター運営協議会負担金31,433千円						
-------------	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会負担金
維持		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	907 通信技術の研究及び広報指導事業							
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部消防指令課 指令3係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-090101-14 消防指令業務に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令					事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
「119番の日」の制定により、119番の適正利用や適切な通報等を促すために広報を行い、地域住民に対し消防業務に対する理解と認識の浸透を図る。				・119番の通報要領等を記載したパンフレットを作成し、イベント開催時及び消防庁舎の見学来庁時に来訪者に対して配布するとともにテレホンサービス等による災害情報の提供を行う。				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 小学生の社会科見学やイベント等で、消防指令業務や119番の適正通報等を広報する。 救急医療情報の内容及び登録者の見直しを実施する。 課員が、緊急性の高い病態について理解し、救急指令の精度向上を図る為、口頭指導勉強会を実施する。 				【通年】 <ul style="list-style-type: none"> 見学者に対して、消防指令業務の説明を行うと共に119番通報の広報を実施。 緊急通報システムNET119、FAX119番通報システムの新規登録、既存登録者のデータ見直しを実施する。 口頭指導勉強会を実施し課員の知識の向上に努め、緊急通報時の適切な対応を図る。 				
成果				課題				
見学者への広報活動により、消防指令業務について理解を深めることができた。 緊急通報システムNET119・FAX119番通報システムの管理体制を適切におこなうことにより登録者のサービス向上を図ることができた。				固定電話や携帯電話、インターネット機能を利用した通報等、119番通報は複雑多様化しているため、市民に対して119番通報の適正利用を広報する必要がある。 通報内容からの確な判断や口頭指導を行わなければならない、引き続き指令課員の指令管制業務のスキルアップが必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
現在運用している、つくば市緊急通報システム、FAX119番通報システム、緊急通報システムNET119の運用について、関係機関との連携、協力により、周知利用を図っていくとともに、来訪者やイベント開催時に広く市民に対して119番通報の適正利用を広報する。								
指標の推移								
1	指標名	施設見学者数 (人)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,775.0	0.0
	指標の概要	消防指令課見学に訪れた累計人数						
2	指標名	登録者数 (人)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0

	指標の概要	F A X119番通報システム登録者						
3	指標名	登録者数 (人)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.0	0.0
	指標の概要	緊急通報システムNET119登録者						
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,852	0	0	0
事業費計		(千円)	2,852	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	0.80		
		時間外勤務 (時間)	4.00	4.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,656	5,437		
事業コスト		(千円)	8,508	5,437		

R02年度当初積算根拠

予算の方向性	理由	財政縮小に伴い広報費（ペーパークラフト・PR用品等）の縮小を実施した。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		